

平和新聞

発行 日本平和委員会
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会
〒543-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル210号
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

オール沖縄 城間幹子那覇市長圧勝 上羽事務局長が現地支援 デニー圧勝報告会

10月21日沖縄県都・那覇市長選挙が開票され、辺野古新基地NO!の城間みきこ氏が自公・維・希推薦の相手候補に3万7千票の大差で圧勝、再選されました。

沖縄県では、知事選で玉城デニー氏の圧勝、豊見城市長選で山川仁氏の勝利、那覇市長選で城間みきこ氏の再選と「オール沖縄」が3連勝しました。

大阪平和委員会は、県知事選に続き上羽事務局長を那覇市長選挙支援に派遣。17日、19日の3日間、知事選と違い全国からの支援者が少ない中、宣伝カーに乗ってのスポット宣伝や城間候補押し上げの法定ビラの配布に力をつくしました。

3つの選挙を通して民意無視の強権政治は通じないことが明らかになったのに、安倍政権は、新基地建設を押し付ける姿勢を変えていません。沖縄連帯支援のさらなる強化が必要です。



10月18日沖縄県庁前

大阪平和委は、沖縄県統一連事務局長の瀬長和男さんを11月9日天王寺区内に招いて、「教えてよ！カメジローの孫・和男さん、玉城デニー知事はどうして圧勝できたの？」とのテーマで知事選勝利報告会をもちました。参加者は会場定員を上回る42人。

瀬長さんは、知事選と那覇市長選で、那覇市内の統一連選挙事務所でも県内外から駆け付ける支援者の陣頭指揮をとりました。瀬長さんは、「政府与党が総力を挙げて企業・団体を締め付け、期日前投票が最終的に有権者の約35%に達し、名護市長選での敗北の経験からもかなり厳しい結果も覚悟していたが、投票箱を開けてみれば8万票の大差での圧勝だった。勝因の一つ目は、故・翁長知事が『新基地はつくらせない』と命がけでがんばったこと。そして、デニー候補がその遺志を引き継ぎ選挙をたたかいたこと。二つ目は、力づくで沖縄の民意を押し潰そうとする政府与党と命がけでたたかいた故・翁長知事の生き様に共感する県民が『自分たちのことは自分たちで決める』と良識を発揮したこと」とデニー圧勝の要因を説明しました。

さらに、故・翁長知事のご子息・雄治氏が10人の青年スタッフを配置し「デニってる」など

ネット、ラインで発進したこと、沖縄の地元紙も県民が知事選で公正な判断をくだせるようファクト・チェックなどで一定の役割を果たしたこと、相手側候補は「自分の知事としての最初の仕事は(台風による)災害対策になるな」と語っていた、つまり、自分が勝つものと思っていなかったことなど、とっておきの裏話も披露してくれました。

参加者は平和新聞に折り込んだチラシを見て三重県から駆け付けた人、大教組副委員長、大阪市労組役員など、多彩な顔ぶれでした。



最前列中央右瀬長さん左橋本敦さん

和歌山で関西ブロック会議

10月27・28日、和歌山県の白浜で関西6県19人が参加して「関西ブロック会議」が開かれました。大阪からは近藤理事長、中村副理事長、奥村・八尾平和事務局長ら4人が出席。

冒頭、千坂日本平和委員会事務局長が「関西の仲間も大奮闘して沖縄県知事選挙・那覇市長選挙で勝利。当面、辺野古埋め

立て承認撤回無効化とのたたかいと県民投票(来年1月末〜2月末)に力点を置き、全国で沖縄連帯の圧倒的世論を高めよう。臨時国会での安倍9条改憲提案を許さない運動や核兵器禁止条約成立・朝鮮半島の非核平和の流れに逆行する日米合同演習や基地強化に反対する運動などを攻勢的にくり広げ、参院選挙で自公政権に審判を下そう。全国大会に向けた仲間づくりでも関西の仲間が全国の牽引車になる」と挨拶しました。

討論では、中村副理事長が、5年前に西淀川の組織を立ち上げ、百人を超える組織にしてきた経験を披露したことに対し、新事務所に移転して組織強化に熱意を持つ兵庫県の組織部長(芦屋平和委員会所属)が「どうしてそんな飛躍ができたのか」と質問。中村副理事長は、「自主的に楽しく取り組める『ゆるゆるな』平和委員会を目指す中で新しい仲間を増やしてきた」と答えました。双方の議論ができたブロック会議でした。



《12月の行事予定》

- 1日(土) 核兵器なき世界へ「映画とトークのつどい」 13:30 エルおおさかホール 1000円
- 9日(日) 藤田早苗氏講演「国際社会から見た日本のメディア、ジェンダー、貧困」 14:30 アウィーナ大阪
- 10日(月) 平和友好団体「安倍改憲NO!3000万署名」行動 11:00 近鉄上本町駅頭
- 15日(土) 原水協総会 10:00 府社会福祉指導センター 同 「文化と講演のつどい」 宮本憲一氏講演 14:00 住まいの情報センター
- 21日(金) 「日米地位協定学習会」 布施祐仁氏講演 18:30 たかつガーデン2F コスモス 500円 正月もち入荷・届け

今月の言葉

「臭いものに蓋をしない」
『スポットライト 世紀のスクープ』
臭いものに蓋をしない。
人間にとって一番大事なモノは言論の自由。
この映画を見ながらつくづく思った。
(『ジブリの文学』鈴木敏夫、岩波書店)

鈴木敏夫氏による別の映画への寸評だが、最近観た韓国映画「1987、ある闘いの真実」にピッタリの寸評でもある。





憲法集会と年金者一揆で青年活躍

総がかり集会で司会

「守ろう憲法！ともに生きる社会を！おおさか総がかり集会」が11月3日扇町公園で1万2千人の参加で開かれました。

集会は、①「輝け憲法！9条改憲ストップ！全国3000万人署名を成功させよう」②「東アジアに平和を！」③「ともに生きる社会を」④「辺野古に新基地はいらない」の4つのパートに分けられて進行。

①では会員の辰巳孝太郎参院議員をはじめとする野党各党の連帯挨拶②では朝鮮初等学校の女子児童たちによる踊り③では会員である被爆者の森香香さんによる被爆証言④では沖縄平和運動センター山城博治議長の訴えが行われました。

司会としてこの進行を仕切ったのが、大阪平和委員会青年協議長の岩本悟さん。相方の大椿さんと息の合った司会進行役を果たしました。

集会参加の女性が「大阪平和委員会にはああいふ青年がいてすばらしい」と言ってくれたと、の声を寄せられました。

なお、この集会では会員が3人増えました。



年金者一揆で連帯挨拶

10月29日全日本年金者組合大阪府本部主催の600人参加の「年金削減ストップ！年金一揆ナンバ大宣伝」。この宣伝行動で府本部からの要請を受けて青年学生部の松永美沙さんが若者を代表して「安心できる社会保障の実現を！」と訴えました。

三千万人署名平和友好団体

10月12日午前10時より平和委員会事務所で大阪平和友好団体の会議が6団体7人の出席で開催され、「安倍改憲NO！3000万人署名」の共同推進について話しあいました。その後、11時から空堀商店街に出て署名宣伝行動を実施し、独自ビラも配布しながら、署名を集めました。来月の共同行動は、12月10日午前11時より近鉄上本町駅頭で実施します。天王寺など近隣の組織はご参加をお願いします。

各地・職場からの便り

八尾・エアフェスタ監視

10月21日自衛隊八尾駐屯地で「エアフェスタ」が開催されました。八尾平和委員会が呼び掛けた監視行動に11人が参加し、フェスタ会場を回った後、昼食・交流を行いました。初参加の八尾市議は「地元で市議を長年務めてきたが、今回はじめて行動に参加した。これほど規模が大きく、見学者が多いとは思わなかった」と感想を述べました。



天王寺・沖縄の歴史映画会

「カメジローと翁長知事から勇気、玉城デニーさん庄勝から希望をもらった。次は私たちの番だ」

天王寺平和委員会は10月27日、区内で沖縄の歴史とたたかいて学ぶため「映画と学習会」を32人の参加で実施しました。

この会は、当初11月に実施予定の沖縄県知事選挙支援に向けたものでした。しかし、翁長知事の急逝により早まった知事選で辺野古基地NO！「オール沖縄」



の玉城デニー知事が歴史的勝利を収めた後というタイミングとなり、沖縄現地支援報告とこれからのたたかひの決意表明の場になりました。

最初に「教えてよ亀次郎」と「翁長雄志知事の誕生とその後」の2本の映画を上映。その後、沖縄に支援に入った人を含め参加者で感想交流を行いました。以下に主なものを紹介しましょう。

「瀬長さんのお名前は存じてましたが、映画を見てとても感動しました。『人間の尊厳』を基調とした不屈の精神、今の政治家に知ってもらいたい」

「翁長さんのことが知れてよかったです。家族・親族がみんな自民党の議員をしていたという事も、仲井真知事の選挙対策委員長だったことも知りました。そんな中でオール沖縄で立候補を決意してくださった翁長さんの沖縄を愛する強い決意を知り、胸が熱くなりました」

都島平和のつどいに七九人

10月28日「第8回都島平和のつどい」が79人の参加で開催されました。康宗憲（カンジョンホン）さんが「北東アジアの平和と憲法9条」と題して講演。

「康先生のお話を聴いてとても感動し、涙が出ました。自分の中の『朝鮮という国は：』という考えが間違っていたんだと気づかされました。同じアジアの国民同士、平和を願う気持ちは同じだということも理解できました」。

関目学園「平和のひろば」

11月10日関目学園で「福祉まつり」が盛大に開催され、関目平和委員会は「平和の広場」を担当。原爆展・「ヒバクシャ国際署名」と「安倍改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」のコーナーを設け、両署名への協力を訴えました。後者の方では持ち帰り用に「福祉まつり・平和の広場・憲法カレンダー」が置かれ好評でした。

